

平成25年9月26日判決言渡

平成25年(行ケ)第10232号 審決取消請求事件

判 決

原 告 X

被 告 特 許 庁 長 官

主 文

本件訴えを却下する。

訴訟費用は原告の負担とする。

事 実 及 び 理 由

#### 第1 原告の求めた判決

特許庁が不服2007-19402号事件について平成21年6月22日にした審決を取り消す。

#### 第2 事案の概要

- 1 本件は、原告が、前記第1記載の本件審決の取消しを求める事案である。
- 2 記録によれば、本件訴えの提起に至る経緯は、以下のとおりである。

(1) 原告は、平成9年12月24日、発明の名称を「容積形流体モータ式ユニバーサルフェーエルコンバインドサイクル発電装置。」とする発明について、特許出願（特願平9-370506号）をしたが、平成19年4月27日に拒絶査定がされ、これに対し、同年6月14日、不服の審判（不服2007-19402号事件）を請求した。

(2) 特許庁は、平成21年6月22日、「本件審判の請求は、成り立たない。」との本件審決をし、その謄本は、同年7月12日、原告に送達された。

### 第3 当裁判所の判断

本件訴えは、平成25年8月13日に提起されたものであるところ、前記第2のとおり、本件審決の謄本の送達があった日から30日を経過したことが明らかであるから、本件訴えは、特許法178条3項により、不適法でその不備を補正することができないものである。

よって、行政事件訴訟法7条、民事訴訟法140条により、口頭弁論を経ないで、判決で、本件訴えを却下することとし、主文のとおり判決する。

知的財産高等裁判所第2部

裁判長裁判官

---

清 水 節

裁判官

---

池 下 朗

裁判官

---

新 谷 貴 昭